

令和7年度 大学地域連携活動支援事業 成果報告

「竹あかり」による 足利まちなかにぎわい創出

足利大学（工学部・看護学部）／ 足利短期大学（こども学科）

足利市地域創生課

Ⅰ. 事業の背景と課題

足利が直面する3つの「困りごと」

地域課題の三層構造



環境：放置竹林

山間部で拡大する竹林。景観の悪化や防災上の懸念が地域の問題に。



空間：空き蔵

まちなかに眠る「蔵」や空き家。資源としてのポテンシャルが未活用。



社会：交流不足

人口減少によるにぎわいの喪失。学生と市民が触れ合う機会の欠如。

学生と地域による足利市中心市街地のにぎわい創出計画

基礎研究

2015年度

カレッジ・トーク
まちなかアンケート
タウンウォッチング

にぎわい創出策の検討
学生の街なかへの意識調
査・動線調査
にぎわい度計測

2020 年度

足利市旧花街研究
空き家・空地活用研究

4. プロジェクトの実施事業の内容①

① 足利市長とのカレッジトーク

(足利工業大学 8/4実施)

●参加学生へのアンケート調査

(足利市内の場所に対する認知・魅力、不足・必要なもの、
要望・提案など)



2015年の夏、カレッジ・トークの様子

学生と地域による足利市中心市街地のにぎわい創出計画

基礎研究

カレッジ・トーク
まちなかアンケート
タウンウォッチング

にぎわい創出策の検討
学生の街なかへの意識調査・動線調査
にぎわい度計測

2020 年度

足利市旧花街研究
空き家・空地活用研究

さまざまな課題

- 足利の夜のにぎわい
- 足利のまちなかの空き家
- 足利山間部の放置竹林問題
- 学生と市民との交流不足



「竹あかり」による
地域に根差したにぎわいの創出

2. 事業の目的

課題を「竹」と「蔵」で解決する

活動を支える3つの柱



環境循環モデル

竹林整備から「竹あかり」制作、チップ化までの一貫した資源活用。



交流拠点の形成

空き蔵「蔵風土(くらふと)」を、多世代が立ち寄れるシェアスペースへ。



次世代の育成

学生が主体となり、地域と協働する「課題解決型リーダー」の輩出。



今年度の活動内容

1. 蔵風土整備
2. 竹伐採
3. 附属幼稚園（竹あかりイラスト依頼）
4. 放課後こども教室（公民館からの依頼：竹あかりワークショップ）
5. 小学校（校長からの依頼：①竹あかりワークショップ、②竹あかり展示）
6. 株式会社マルサン（①竹あかりワークショップ、②スマホ教室）
7. オープンキャンパス（報告、竹あかりと竹チップ制作）
8. 乳幼児学級
9. 足利市長報告会
10. 陸前高田市 竹あかり展示



拠点整備：蔵風土の活用

自発的な活用を促す場へ

- ・ スマートロック導入：地域住民や学生が自発的に利用できる仕組みを構築。
- ・ 前庭の再整備：学生と市民が自然に「溜まれる」空間デザインの实践。
- ・ 活発なゼミ活動：作戦会議の場として日常的に利用される拠点へ。



大谷石の蔵 蔵風土



学生による活発な活用

2023年度から蔵を清掃・補修をして、地域住民に広く開放する準備中。



円形広場

竹灯りと竹チップブロックとの共演によるにぎわい。
(2021年度から実施)

漆喰の蔵

蔵を開放し、高校生や市民団体とともに活用を継続。
(2022年度より)

所在地：
足利市家富町

環境対策：放置竹林の解決



「楽しさ」を通じた環境保全

市民からの依頼に基づき、竹林伐採を実施。単なる労働ではなく、伐採した竹を使った「流しそうめん」等のイベントをセットにすることで、地域の絆を深める活動へと昇華させました。

3. 教育・地域連携の広がり

幼稚園から企業、市長報告会まで

①教育機関との連携の連鎖



幼稚園

幼稚園児のイラスト協力



小学校

小学生と竹あかりワーク
ショップや竹並べ体験を通
じ、郷土愛を育む



公民館


公民館からの依頼で、竹あ
かりワークショップや乳幼児学
級を実施



地域公民館からの
依頼を受け
小学校で竹あかり
ワークショップを開催

- 足利市立けやき小学校
 - 放課後こども教室(12名)
 - 親子で参加された方もいました。





小学校校長から
依頼を受け、
竹あかり
ワークショップ

- 足利市立けやき小学校
 - 特別支援学級（10名）
 - 小学1年生（35名）
 - 小学4年生（50名）





小学校校長から依頼を受け、竹あかり展示
子どもたちが作った竹あかりを蔵風土の前庭に展示



乳幼児学級

- 市内 山前公民館・三重公民館
- 地域の幼児とその保護者対象



写真①昨年度の様子（造形あそび）



写真②昨年度の様子（運動あそび）

足利短期大学合同企画

令和7年度
三重・山前
公民館
こども学級

ないきい海賊団！
キラキラ宝探し大作戦！

宝の島へ出航だ！
-さあ、海に落ちないようにすめ-

ひみつ道具をつくろう！
-親子で手に入れるふしぎな宝！-

<日時>2026 年
2月8日 日
じかん：午前 10 時～正午
(受付 9 時 40 分から)

<会場>
山前公民館
ホール (足利市鹿島町 630-1)

<対象>
3～5歳児とその保護者(市内在住)
※ 託児サービスがないため、3 歳未満
のお子さんは参加できません。

<持ち物>
飲み物(水分補給用)
※ 動きやすい服装でお越しください。

要予約 **無料** お申し込みは
こちら

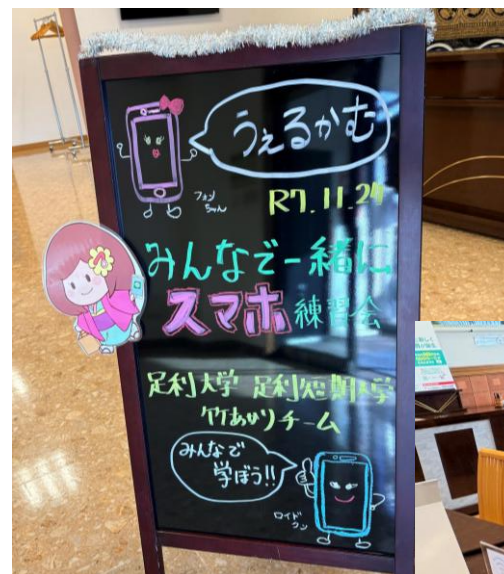
<お申込み>
2026 年 1 月 6 日(火)～1 月 26 日(月)
お申込みフォーム・電話(山前公民館 62-2700)にてお願いします。
※ 電話受付：平日のみ 午前 9 時～午後 4 時 30 分
定員 15 組「先着順」同日申し込みの場合は抽選となる可能性があります。
定員になり次第、受付終了となります。

今年度のチラシ

②多世代を巻き込む連携の連鎖（企業・地域団体）



竹あかり制作



スマホ教室



大学0Cでの活動発表

- ① これまでの活動を発表
- ② 竹あかり制作体験
- ③ 竹チップブロック制作体験

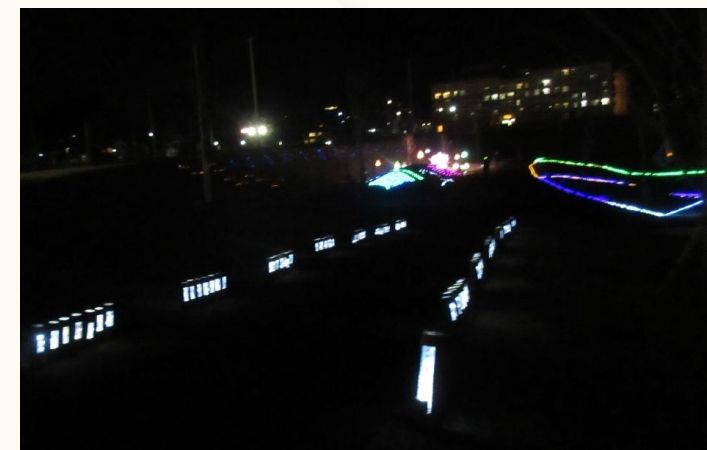
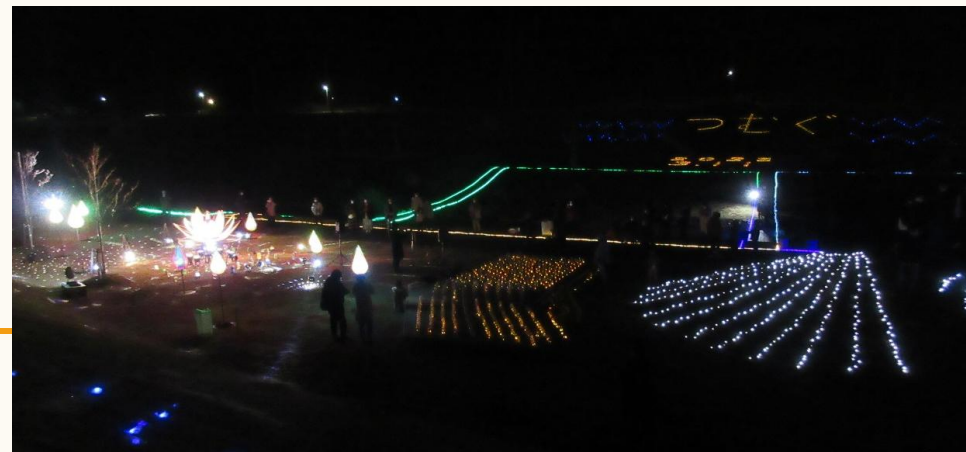
広域連携と社会的評価

足利から他地域、そして行政へ

岩手県陸前高田市での「つむぐイルミネーション」への出展、地域団体との連携（ボランティア活動）など、足利市長への直接報告などを通じ、活動の成果を広く発信。地域連携活動としての信頼性を高めました。

第1回 毛の国 足利クラフトフェア
主催：足利クラフトフェア実行委員会

第13回 足利学校門前マルシェ
主催：足利学校門前マルシェ実行委員会



活動の成果

「つながりの拡大」

「資源の循環」

「学生の成長」

The background image shows a courtyard area. On the left is a two-story stone building with a dark wooden entrance. Above the entrance is a sign that reads "土風蔵" (Do Kaze Zang). In the center and right of the courtyard is a circular path made of many small, upright bamboo poles, some of which are decorated with colorful paper. In the background, there are modern houses and utility poles under a clear sky.

今後の活動方針

「点」の活動を「線」や「面」にし、
足利のまちなかに持続的にぎわいを
定着。

「竹あかり」をツールとして、学生と
市民が手を取り合い、明るい足利の未
来を灯し続ける。